

上下水道で苦慮

國道十三號線沿

風

発行所
田賢逸後援会
丁醜翻字醜翻98-2
0182-25-4011
a@amber.plala.or.jp

問われる住民運動と行政の対応

先ごろ協議会では三地区の集落民を対象にアンケート調査を行った。

年頭にあたつて

藤原
正

議員の感覚

伊藤
武三

自家から車で出入りするのも容易ではなく、歩道は一メートル足らずで車椅子もあるけない。除雪車がくるとその歩道に雪を置いてゆく。家中では上水道も下水道もなく、通常、便利な所と思われる国道十三号線沿いはいま辺地なみの環境である。そこで三地区では平成十四年「上下水道設置促進協議会」(以下協議会)を結成し住民運動を展開してきた。しかし協議会が早期実現を目指してきた上水道と流雪溝の同時施行の目算がはずれ運動の見直しを余儀なくされることとなつた。

町の上水道計画を聞くと今後の配水計画は成瀬ダムの水利用にのつとり配管は高い方(明沢)から低い方(竪田)を経て石成には平成17年に敷設されるとしているが、上、下通りの国道(歩道)への埋設工事については国交省の認可は得られない見とおしであり、上、下通りが石成に統いて上水道を確保したいとすれば民家の裏側に敷設せざるを得ない状況となつた。一口に裏側を通すといつても①樹園、建物などの障害物がある③配管の上に建物などの施設は建てられない。等々問題も多いようだ。工事は民有地を一時借用しなければならない②果樹園、建物などの障害物がある③配管の上に建物などの施設は建てられない。等々問題も多いようだ。下水管が当地区へ向けて伸びてくるので、その延長を期待したいところである。それには国道(歩道)の拡幅は不可欠なのである。

これらについては関係機関と充分検討する必要があると思う。

ところでこれまでの説明会ではきかなかつたが町水道課によれば合併浄化槽を下水道につなぐ場合は奨励金として二十万円が支給されるが該当する者は下通りのみである。下通りは早くより下水道認可区域となつていて合併浄化槽への補助金が交付されなかつたのでその見返りと言うところか。

もう間もなく三月、市町村合併まであと一年、地域の民意を結集しての行政への働きかけも急がねばならない。国土交通省も第一に地域の熱意を表すことが大切とアドバイスしてくれたが協議会を中心とした住民運動がめでたく成就することを祈つて止まない。

②下水道を希望しながら国道（歩道）拡幅は「希望しない」③国道拡幅を車道拡幅が主ととらえた点等、矛盾点もあつて設問の難しさを感じた。

石成地区の人達には国道より県道の設問の方が適切だったようと思えるし事実、県道拡幅の意見もあつた。その他、消火栓の設置、上水道負担金の軽減、（平鹿町は他町村より高い）浸水防止、上下水道と国道拡幅の同時施行、国道混雑の緩和などの意見が寄せられた。

「下水道も「希望しない」が少数あつたが、それもすでに合併浄化槽を設置済みの人達と高齢者世帯とみられ流雪溝を「希望しない」は極少数で国道拡幅を「希望する」は大多数であつた。

只その設問が大まかだつたため必ずしも認識統一されたデータとは言えないが、おおよその意思確認が出来たといえよう。協議会では近く報告会を開く予定と聞くが、今後これをどう生かし住民運動を展開していくか注目されるところである。

所に心和み白い胸に感動します。総会終了後はいろいろな問題をたずさえて県選出の国会議員に陳情のため京にも出向いております。後援会活動も昨年は会報の發行と市町村合併問題の勉強会などを行いましたが計画どおりの事業が出来ず反省しております。今年度も会報の発行、勉強会、お借りして各集落に広く会員を募集し又会員名簿の作成などを考えております。そして会員相互の親睦をはかり堀田議員の活動を支援して参りたいと存じます。今後ともよろしく御指導御協力の程をお願い致します。

世はまさに情報化的時代です。高速情報通信の開始をNTTに陳情し1月15日開通されました。苦心により町当局に働きかけてその実現に頑張つております。上通り、下通り、石成地区においては、上水道早期設置実現のためその運動は全面的に支援しておりますが、関係各所にも賛成へ東青を行つております。

ましては、日々すこやかにおすごしのことと思います。先日の堀田賛逸後援会総会にはお忙しい中多数の皆様にご出席いただき、盛大に総会が出来ました事は皆様の御支援御協力のおかげと大変感謝しております。堀田町議におかれましては、議会活動はもちろんですがその他の活動においても積極的に活動しております。よろしくお手数ですが、

藤原 正

• • • • •

卷之三十一

卷之二十一

卷之三

反対ではありません。税金は、我々の生活全般においていこうと言う議論をこの際はつきりと。我々の税金をこつとめることをこの際はつきりと。これが、議員のつとめ

け取つておこうと言ふ。されしてまことに残念な議會の議員投票が多かった。果たしてこのよう 事はなかろう。

新聞やテレビの報道
定数が報道されてい
の定数百四十六名レ

を守ると言う原則をが、正しい議員であり自分のふところに大反省をして、そのをして貰いたいと言つておきたい。のであるから……

投票が行われたと言ふ

單に算術的に、現
か二十六名の委員が
の代表者二十二名が
あるが、いずれ、
さに驚きである。私
についてはその数の
こ来た。或る人は「名
とも言われて來た事
出来る、取れる

秋田県大仙市の議員
新しい自治体の議員
新大仙市の議員

